

平成26年5月
第1号

地域公共交通東北仕事人メールマガジン

こんにちは。

地域公共交通東北仕事人 事務局です。

『地域公共交通東北仕事人メールマガジン創刊号』をお届けします。

本メルマガでは、最新の交通政策や旬のコラムなど、東北運輸局ホームページ
(<http://www.tb.mlit.go.jp/tohoku/ks/new%20page/koukipagetop.html>) で発信
している情報をいち早くお伝えしていきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

創刊号目次

- 創刊記念コラム「地域公共交通東北仕事人」制度の創設にあたって
(東北運輸局企画観光部長 吉田 昭二)
- トピックス ①河北新報社の取材を受けました
②仕事人初仕事決定！山形県生活交通研修会（6月12日・若菜 千穂）
- 我が町紹介 岩手県田野畑村政策推進課政策推進班主任主査
(地域公共交通東北仕事人・工藤 光幸)
- 編集後記

公共交通にのろう



☆創刊記念コラム「地域公共交通東北仕事人」制度の創設にあたって

東北運輸局企画観光部長 吉田 昭二

26年3月、地域に寄り添って地域公共交通の充実を支援いただくことを目的に、地域公共交通東北仕事人制度が創設されました。17名の創設メンバーの方々には、真摯なるご協力に対し、心より厚く御礼申し上げます。

公共交通は身近なものであり、人と人が交流して発展する社会経済の生命線を担うものですが、その適切な見直しは必ずしも容易ではありません。自治体の交通担当者、地域の交通事業者、地域の住民や利用者の中には、公共交通について様々なご意見（ときには不平不満）を持ち、その維持や改善、充実を図りたいと願う方々がおられることと思います。

また、地域の一つとして同じものがないように、地域の公共交通のあり方にも一つとして同じものはありません。ある地域ではうまく機能したやり方が他の地域でもうまくいくとは限らず、日々悩んでおられる方々もおられることと思います。

私は、「仕事人」は、その豊富な知見やネットワークを生かし、地域の方々と一緒になって、公共交通をより良いものにするための仕事に尽力しようという、稀有な志を抱く方々の集まりとっております。

「仕事人」の皆様には、より良い公共交通を望む地域の声に応え、私どものご意見番の役割も含め、是非ともよい「仕事」を推進いただきたいと存じます。何卒よろしく願い申し上げます。

さきほどから仕事人、仕事人と言っておりますが、実は、この名称は私どもが考えたものではありません。私どもの当初案“地域公共交通アドバイザー”は上から目線にすぎ、実際に地域の役に立つことをしようという志にそぐわないのではないかと、とのご指摘とともに、福島大学の吉田樹先生からご提案のあったものです。

“指摘”にとどまらず、“提案”もしていただける、これがまさに仕事人の仕事の真髄です。吉田先生、そういうことでよろしいですね？

話は変わって、15年以上前の個人的経験となりますが、私は山口市の公共交通検討会で、故・岡並木先生と一緒に仕事をさせていただいたことがあります。高齢化した団地を含む交通網の再編が難題でしたが、先生は、住民の率直な意見を聞き出すこと、住民が参加し、自らあるべき交通網を考えてもらうことに大変な精力を注がれました。

そして、もう少し効率よく、制度的に公共交通の見直しはできないもののでしょうか、との私の不躰な質問に対し、先生は、「貴方はその疑念を持ち続けてください。貴方の先輩方も、

様々な疑念を持って仕事に取り組み、いつか偉くなって、制度を改善してきたのですから。」と諭してくださいました。今でも忘れられないお言葉です。

あれから15年以上。今でも疑念がなくなったわけではありませんが、地域にとっては唯一無二の公共交通のあり方を変えるためには、地域に寄り添って大変な精力を注ぐことが不可欠だということはわかったつもりでおります。

私も、「仕事人」の皆様とともに、互いの疑念も共有しながら、もっと地域に役立つ公共交通の実現に努めてまいりたいと存じますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

最後に、ここまで読んでいただいた方、大切な時間を大変有り難うございます。そうした貴重な方へのお願いですが、我こそは、又は彼こそは「仕事人」にふさわしいと思われる方があれば、直ぐに私どもの交通企画課（022-791-7507）までご一報をお願い申し上げます。

☆トピックス

1. 河北新報社の取材を受けました。

「地域公共交通東北仕事人」制度創設にあたって、設立趣旨や経緯などについて、河北新報社より仕事人事務局が取材を受けました。5月24日（土）の朝刊に掲載予定です。是非ご覧下さい！

2. 「地域公共交通東北仕事人」としての、初仕事決定！

山形県より、地域公共交通東北仕事人のマッチングの依頼が東北運輸局にあり、打合せの上、若菜 千穂 仕事人の講演が決定しました。概要は以下のとおりです。

■日時：6月12日（木）15：00～

■場所：山形県建設会館1階 大会議室

■テーマ：「山形県生活交通研修会」

■参加者：山形県内の自治体、山形県内の交通事業者

■主催：山形県、山形県バス協会、国土交通省東北運輸局

※地域公共交通東北仕事人へのご相談は、東北運輸局まで（連絡先は巻末参照）

☆「我が町紹介」①

このコーナーでは、東北各地域の方へ、自分の住んでいる市・町・村を紹介してもらいます。リレー形式のコラムになる予定ですが、今回は岩手県田野畑村政策推進課政策推進班主任主査 工藤 光幸さん（地域公共交通東北仕事人）に執筆いただきました。



◎特A級の観光資源「北山崎」

田野畑村は、岩手県沿岸北部に位置する農山漁村です。北部は普代村、南西部は岩泉町に接し、東部は太平洋に面しています。沿岸部は、大地が隆起してできた断崖状の海岸段丘で、平地はわずか16%程度しかなく、起伏の激しい地形が特徴です。

海岸線は昭和30年に陸中海岸国立公園に指定され、震災後の平成25年には青森県から宮城県までの三陸復興国立公園へと生まれ変わり、復興の中の一つのシンボルとなりました。また、景勝地「北山崎」は、平成11年に財団法人日本交通公社が行った全国観光資源評価で、国内の海岸資源としては唯一最高ランクの特A級に格付けされており、三陸ジオパークの目玉ポイントとなっています。（田野畑村HP | 観光・特産品：<http://www.vill.tanohata.iwate.jp/04kanko/>）

◎体験型観光で魅力発信

体験型観光を軸とした振興策に力を入れており、エコツーリズムを基本としたメニューを提供しています。その中でも漁師の操る小型漁船で岩礁のそばを通り抜ける冒険気分満載の「サッパ船アドベンチャーズ」は観光客の人気を集めています。

◎交通事情今昔

交通は、村の中心を国道45号線が南北に走り、宮古市や久慈市の中心部から車で約1時間、県都盛岡市からは国道455号線で約2時間かかります。

しかし、復興道路の工事が急ピッチで進行しており、早期開通による村の活性化に大きな期待が持たれています。

また、震災で一部不通が続いていた三陸鉄道も4月6日には全線開通し、村内の2駅も重要な交通拠点となっています。

◎地域公共交通活性化の取り組み

公共交通として本村の幹線道路は昭和30年代後半からJRバス(旧国鉄バス)が運行を開始し、更に昭和59年には三陸鉄道が開業して、利便性が大きく向上しました。しかし、バス路線は利用者の減少などにより、50年代後半から不採算路線の廃止などが相次いで行われてきました。

平成4年から社会基盤の一つとして、交通弱者といわれる高齢者や生徒の足を確保するため、それまでの患者輸送車や廃止代替バスなどを統合し、自家用有償による村民バスの運行を全村で開始しました。

さらに時代の変化に対応すべく、現在は、平成22年度に村内の6小学校が1校に統廃合されたことに伴い、国の地域公共交通活性化・再生総合事業、地域公共交通確保維持改善事業の活用等により、村民バスとスクールバスの統合、予約運行交通、観光交通などを運行し利用者の利便の確保を図っています。

◎今後の課題等

これまで、事業の実施にあたっては、各地区での懇談会の開催や、アンケート調査によるニーズ把握などを行っていますが、人口減少や高齢化に伴い生活環境も変化していることから、更に細かく把握することが必要となっています。

また、震災の移転団地造成も目途がたち、今後、家が再建されていきますが、その皆さんの利用動向や、同時に直接震災の被害のなかった他の地区との調整を図っていくという直近の課題もあります。

単に、交通ということではなく、外出機会の創出による要介護者等の被害予防や速やかな安否確認、買い物弱者支援など、その用途、役割は大きく変化しており、その時々に対応した交通の役割やサービスのあり方など、情報収集と研究が必要となっています。

☆編集後記

地域公共交通の悩みを共有しましょう。このメルマガは、仕事人の方にご覧頂いています。それぞれに抱える悩みや疑問等ありましたら、いつでもお問い合わせください。制度が創設されたばかりで、まだまだ改良していく余地がありますが、この制度は、とにかく、動こうということでスタートしています。気軽にホームページを覗いてみてください。

■このメールは、東北運輸局企画観光部交通企画課アドレスから発信しています。

■本メールサービスの解除を希望する方はお手数ですが、下記メールアドレスにその旨ご連絡ください。

tohoku-kikaku@tht.mlit.go.jp

■最新の情報は東北運輸局ホームページをご確認ください。

国土交通省ホームページ：<http://www.mlit.go.jp/>

東北運輸局ホームページ：<http://www.tb.mlit.go.jp/tohoku/index.html>

お問い合わせ：tohoku-kikaku@tht.mlit.go.jp

■このメールの配信を希望される方、記事に掲載を希望される方はこちら

tohoku-kikaku@tht.mlit.go.jp

■配信元：国土交通省東北運輸局・地域公共交通東北仕事人事務局

掲載記事の無断転載を禁じます。

Copyright (c) 国土交通省東北運輸局

